



## 週間情報



No.0721

発行日 令和7年6月10日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

### 両会の動き

#### ◆ 「令和7年度警防実務研修会（緊急消防援助隊宮崎県大隊活動訓練）」を開催

宮崎県消防長会（宮崎）

宮崎県消防長会では、令和7年5月14日（水）、「令和7年度警防実務研修会（緊急消防援助隊宮崎県大隊活動訓練）」を開催しました。

当日は、県内全ての消防本部から総勢83人が参加し、同年4月に緊急消防援助隊の基本計画が改正され、安全管理部隊や救急特別編成部隊などの部隊が創設されたことを踏まえた実動訓練を実施しました。

また、後方支援活動能力の強化を目的として、過去の出動や緊急消防援助隊ブロック訓練における課題などを踏まえながら大型テントなどを設営し、後方支援体制の検証を行いました。

訓練後には、反省点や課題などについて活発な意見交換が行われ、県内消防本部の連携がより堅密になり、大変有意義な研修会となりました。

今後も、県内消防本部の組織力の向上と関係機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【後方支援体制検証の様子】

## 消 防 本 部 の 動 き

### 行 事

#### ◆ 生駒市火災予防協会が事務連絡車を寄贈

##### 生駒市消防本部（奈良）

生駒市消防本部では、令和7年5月21日（水）、発足45周年記念事業の一環として、生駒市火災予防協会から、事務連絡車の寄贈を受けたことに伴い、生駒市長から感謝状を贈呈しました。

生駒市火災予防協会とは、本市における無火災を目標に、火災予防思想の普及事業を行っている任意の非営利団体であり、市内自治会への街頭消火器設置事業でこれまで多くの火災による被害の拡大を軽減した実績と市内の火災予防の推進に寄与されています。

今後は、事務連絡車を火災予防業務で活用し、市民の安全・安心につなげてまいります。



【事務連絡車】



【記念撮影の様子】

#### ◆ 新消防庁舎3施設の竣工式を挙る

##### 湖北地域消防本部（滋賀）

湖北地域消防本部では、令和7年5月26日（月）、28日（水）の2日間、米原消防署、米原出張所、東浅井消防署の竣工式を挙行しました。

湖北地域の庁舎整備事業は、管内消防力の適正配置と持続可能な消防体制を構築することを目的として、署所の整理統合化を図るとともに、最も効果的かつ効率的な場所への移転整備を進め、この度、3署所同時竣工を迎えました。

新消防庁舎の3施設は、災害に強く、人にやさしい新たな消防防災拠点としての役割を担い、今後も、消防防災体制のさらなる充実強化に努めてまいります。



【米原消防署新庁舎】



【東浅井消防署新庁舎】

## 訓練

### ◆ 集団救急災害対応訓練を実施

#### 新潟市消防局（新潟）

新潟市消防局では、令和7年5月21日（水）、南区役所において、白根凧合戦協会、警察、区役所と合同で、集団救急災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、新潟市において毎年開催されている「白根大凧合戦」に備えるため、災害対応力の向上と関係機関との連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「凧合戦引き合い中に綱が切れ、参加者の十数人が折り重なって倒れた。」との想定で、当消防局が定める集団救急災害対応要領に基づいた訓練を行い、多数傷病者が発生し騒然とする中で、各機関が連携しながら情報共有、安全管理、傷病者の搬送手順などについて確認することができました。

今後も訓練を継続し、安全・安心な地域づくりに努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練動画のQRコード】

### ◆ 塵芥収集車を活用した救助訓練を実施

#### 倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和7年5月22日（木）、管内の環境管理会社にご協力いただき、塵芥収集車を活用した救助訓練を実施しました。

この訓練は、救助隊員の技術力と災害対応能力の向上を図ることを目的として実施したもので、塵芥収集車の切断などを行う訓練は、当消防局初の試みでした。

当日は、「回転板に挟まれた。」、「パッカー内部に巻き込まれた。」との想定で、要救助者の救出方法を検証しました。

訓練を通じて、車体は堅牢にできているため切断や拡張が容易にできないことなど、塵芥収集車の構造について理解を深めることができたほか、実践的な知識を効果的に習得することができました。

今後も、実際の災害に近い環境化での訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

## ◆ 「令和7年度はしご車操法技術練成会」を実施

### 豊中市消防局（大阪）

豊中市消防局では、令和7年5月19日（月）から5月23日（金）までの期間中、はしご車を共同運用している箕面市消防本部の訓練施設において、「令和7年度はしご車操法技術練成会」を実施しました。

当日は、はしご車の誘導要領、部署位置の選定要領、基本操作要領について、隊長、機関員、隊員による連携した活動ができているかを重点的に審査しました。

今後も、安全・迅速な活動をモットーにレベルアップし続けるはしご隊を目指してまいります。



【練成会の様子】

## ◆ 緊急消防援助隊受援訓練（図上訓練）を実施

### 宇佐市消防本部（大分）

宇佐市消防本部では、令和7年5月26日（月）、緊急消防援助隊受援訓練（図上訓練）を実施しました。

当日は、30人の職員が参加し、「大分県北部周防灘沖約30kmの海域で震度6強の地震が発生した。」との想定で、発災から、大分県内消防応援隊と緊急消防援助隊の要請、進出拠点と宿営地の決定、指揮支援隊を被災地消防本部に受け入れるまでを実施し、災害対応や必要な手続きなどについて確認することができました。

参加した職員は、訓練に先立ち、受援計画に関する研修会や同訓練に関する説明会を実施し、訓練シナリオなどを事前に把握した上で同訓練を実施しました。

参加した職員からは、「開示型の訓練でしたが、各担当班に付与された内容を整理した上での情報共有の難しさを改めて感じました。」「緊急消防援助隊受援計画の理解が深まりました。」との声を聞くことができました。

今後も訓練を継続し、必要に応じて計画の見直しを図るなど、受援体制の強化に努めてまいります。



【図上訓練の様子】

## ◆ 林野火災対応訓練を実施

### 中濃消防組合消防本部（岐阜）

中濃消防組合消防本部では、令和7年5月27日（火）、28日（水）の2日間、林野火災対応訓練を実施しました。

この訓練は、近年、増加している林野火災への対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、実際に山道を登りながらホースの延長、急傾斜地でのホース搬送、放水活動を行い、地形や水利条件に応じた効果的な活動方法を確認したほか、背圧やホースの摩擦損失による放水限界を検証し、機関員の実践的な対応力の向上を図ることができました。

また、職員42人が参加し、登山者への安全配慮や指揮隊と機関員との通信体制の確認などを行いながら訓練を実施し、実際の災害現場を想定した総合的な訓練となりました。



【訓練の様子】

## 研修

## ◆ 「国民保護研修会」を実施

### 駿東伊豆消防本部（静岡）

駿東伊豆消防本部では、令和7年5月12日（月）、清水町消防署において、消防職員を対象とした「国民保護研修会」を実施しました。

当日は、消防庁国民保護室に出向経験を持つ職員が国民保護と防災の違い、Jアラートの役割、法定受託事務と自治事務について講義し、受講者から多くの質問などがあり、活発な意見交換ができた研修会となりました。

今後は、有事の際にどのような活動ができるのか想定し、訓練を継続してまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 人権研修会を開催

### 湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和7年5月14日（水）から16日（金）の3日間、人権研修会を実施しました。

当日は、一般社団法人チャレンジドLIFE代表で自身も自閉スペクトラム症（ASD）のお子さんをもつ畠中氏を講師としてお招きし、「外見だけでは分からない障害×防災」をテーマとして、実際に起こったエピソードなどを交えながらご講義いただきました。

研修会を通じて、発達障がいのある人は、災害時に「助けて。」と自ら支援を求めることが難しい特性を理解することができたほか、災害現場でのパニック状態から脱するために、あいまいな言葉で伝えるのではなく、具体的な背景や内容を伝えることと特性を踏まえた言葉遣いの必要性について学ぶことができました。



【研修会の様子】

## ◆ 「令和7年度指導救命士研修会」に参加

### 浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和7年5月20日（火）、静岡県西部地域メディカルコントロール協議会が主催する、「令和7年度指導救命士研修会」に参加しました。

この研修会は、救急救命士と救急隊員の指導的立場にある指導救命士の資質の向上を図ることを目的として開催されたものです。

当日は、浜松医科大学地域創成防災支援人材教育センターの講師から、救急現場における「アントレプレナーシップ」や「ノンテクニカル」の重要性について、ご講義いただきました。

今後も、指導救命士の人材育成能力の向上を図るとともに、救急業務の資質向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

## ◆ 「令和7年度岐阜県高速道路等消防連絡協議会研修会」を開催

### 大垣消防組合消防本部（岐阜）

岐阜県高速道路等消防連絡協議会（事務局：大垣消防組合消防本部）では、令和7年5月21日（水）、養老町民会館において、「令和7年度岐阜県高速道路等消防連絡協議会研修会」を開催しました。

当日は、岐阜県内18消防本部およびその他関係機関から約90人が参加し、横浜国立大学総合学術高等研究院次世代工学システムの安全科学研究ユニット客員教授である野口和彦氏を講師としてお招きし、「大規模災害から市民・地域を守る危機管理～仕組み・技術・インフラについて～」と題し、ご講義いただきました。

研修会を通じて、激甚化する自然災害などの危機管理に影響を及ぼす大きな社会変化への対応について再認識することができ、大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

## ◆ 「北海道消防学校専科教育警防科」修了に伴うフィードバック研修を実施

### 西胆振行政事務組合消防本部（北海道）

西胆振行政事務組合消防本部では、令和7年5月22日（木）、23日（金）の2日間、消防司令補以下の職員を対象に、「北海道消防学校専科教育警防科」修了に伴うフィードバック研修を実施しました。

当日は、同警防科を修了した職員が講師として、「火災性状」をテーマとした座学を実施した後に、「課題討議」をベースにした実践的なグループワークを行い、小隊長の視点から具体的な行動方針について討議しました。

また、グループごとに討議結果を発表し、活発な質疑応答を通じて、職員間での視点共有と戦術の深化を図ることができたほか、現場対応力の向上と部隊としての意思統一を再確認することができ、大変有意義な研修会となりました。

今後も、実践的な研修と訓練を継続し、「人命救助最優先」の安全性と迅速性を兼ね備えた火災対応力の向上に努めてまいります。



【座学の様子】



【グループワークの様子】

## そ の 他

### ◆ 消防協力者に感謝状と記念品を贈呈

#### 比企広域消防本部（埼玉）

比企広域消防本部では、令和7年5月13日（火）、2事案の消防協力者の9人（5人欠席）に対して、消防長から感謝状と記念品を贈呈しました。

1事案目は、令和6年11月23日（土）に発生した救急事案において、ゴルフの練習中に心肺停止となった70歳代男性に対して、消防協力者の4人が連携し、絶え間ない胸骨圧迫、迅速な119番通報、AEDを活用した除細動を実施し、救急隊に引き継いだものです。

2事案目は、令和6年12月7日（土）に発生した救急事案において、サッカーの試合中に心肺停止となった70歳代男性に対して、消防協力者の5人が連携し、絶え間ない胸骨圧迫、迅速な119番通報、AEDを活用した除細動を実施し、救急隊に引き継いだものです。

2人の男性は、消防協力者9人の迅速・的確な行動と途切れることのない「救命の連鎖」により、社会復帰することができました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

### ◆ 「はたらく消防の写生会」を実施

#### 東京消防庁（東京）

東京消防庁千住消防署では、令和7年4月10日（木）から5月13日（火）までの期間中、「はたらく消防の写生会」を実施しました。

期間中は、当署のポンプ車と地域防災の要である消防団の可搬ポンプ積載車が参加し、児童たちは、興味津々に話しかけたり、資器材や装備について質問したりしていました。

また、地域の消防団員の方々も「元気ですか？おはようございます！」、「上手にかけていますね！」と近所に住む児童たちの姿に、目を細めながら声をかけ、消防隊員と消防団員は、子供たちの一生懸命クレヨンを走らせる姿にとっても力をもらいました。

今後も、地域のこれからを担う子どもたちに「防火防災」を身近に感じてもらうため、さまざまな広報を行ってまいります。



【写生会の様子】

## ◆ 予防技術資格者章の交付式を実施

### 美作市消防本部（岡山）

美作市消防本部では、令和7年5月19日（月）、予防技術資格者に対して、予防技術資格者章の交付式を実施しました。

当日は、火災の予防に関する高度な知識および技術を有する資格者に対して、消防庁長官が定める資格の取得数に応じて、金（3種類取得）と銀（2種類以下取得）の資格者章を交付しました。

今後も、市民の安全・安心のため、予防業務の責務に対する自覚と意欲を高め、さらなる火災予防の推進に努めてまいります。



【交付式の様子】



【予防技術資格者章】

## ◆ 「避難訓練コンサート」を実施

### 横浜市消防局（神奈川）

横浜市消防局では、令和7年5月21日（水）、横浜市緑区にある「みどりアートパーク」において、「避難訓練コンサート」を実施しました。

このコンサートは、横浜市消防音楽隊による演奏を行うほか、「コンサート中に地震が発生した。」との想定で、音楽隊、施設の職員、コンサートの参加者で避難訓練を実施するもので、当該施設での実施は今年で4回目となります。

当日は、横浜市緑消防団に入団している神奈川大学サッカー部の学生団員から支援を受けながら、避難誘導を行ったほか、当消防局緑消防署の新たなヒーロー「誘導灯マン」が登場し、誘導灯の重要性について、参加者に分かりやすく説明しました。

今後も、自助・共助の意識を高めるため、音楽やキャラクターなどを通じて、市民の皆さまに楽しく防火・防災について学んでいただくとともに、さまざまな施策を推進してまいります。



【訓練の様子】



【広報の様子】

## ◆ 救急安心センターおおさか「#7119」の啓発動画を制作

茨木市消防本部（大阪）

茨木市消防本部では、令和7年5月22日（木）、茨木市をホームタウン登録している、Jリーグ「ガンバ大阪」と連携し、救急安心センターおおさか「#7119」の啓発動画を制作しました。

この動画は、増え続ける救急需要への対策を図ることを目的として制作したものです。

動画内では、「ガンバ大阪」No.22のGK一森純選手が救急出動件数の増加に伴う、救急安心センターおおさか「#7119」の必要性についてご説明いただいているほか、今後も、当消防本部と連携し、市民の安全・安心を全力で守り切ることを、力強く宣言しています。

今後も、「ガンバ大阪」と連携し、市民の安全・安心の確保に努めてまいります。



【動画のサムネイル】



【動画のQRコード】

## ◆ 「幼年消防クラブ発足式」を実施

守口市門真市消防組合消防本部（大阪）

守口市門真市消防組合消防本部では、令和7年5月19日（月）、26日（月）の2日間、管内の幼稚園において、「幼年消防クラブ発足式」を実施しました。

この幼年消防クラブは、園児が火に対する正しい知識を身に付け、将来にわたって必要とする防火意識を養うとともに、園児を介して幅広い年齢層に防火思想の普及と災害に強い街づくりを図ることを目的として発足しているもので、37年振りに守口市と門真市の幼稚園1園ずつが新たに加盟しました。

当日は、参加した90人の園児たちが元気な声で「火遊びは絶対にしません。」と防火の誓いを宣誓し、最後には、当消防本部のマスコットキャラクターである「レンダイオン」と防災ダック（幼児向け防災教育用カードゲーム）を実施し、園児たちが災害から身を守る行動などについて楽しみながら学ぶ姿を見ることができました。

今後は、加盟しているすべての幼年消防クラブへの防災教育やイベント活動を実施し、将来、地域防災の輪を広げるリーダーになることを期待しています。



【発足式の様子】

## ◆ 「第48回全国消防職員意見発表会」出場に伴う出場報告発表会を開催

### 座間市消防本部（神奈川）

座間市消防本部では、令和7年5月27日（火）、消防庁舎多目的会議室において、桐生市消防本部と合同で、「第48回全国消防職員意見発表会」に伴う出場報告発表会を開催しました。

この発表会は、同年4月25日（金）に開催された「全国消防長会関東支部消防職員意見発表会」において、当市消防本部の職員と桐生市消防本部の職員が最優秀賞を受賞し、「第48回全国消防職員意見発表会」に出場することから開催したものです。

当日は、自衛隊、在日米陸軍基地管理本部統合消防本部、座間警察署、神奈川県内の19消防本部から約100人が聴講し、緊張感のある中で関東支部代表の2人は、「第48回全国大会消防職員意見発表会」に向けた意見発表を行いました。



【出場報告発表会の様子】

## 国等の動き

### 消防庁通知等

#### ◆ 令和6年中の危険物に係る事故の発生状況等について

（消防危第102号、令和7年5月28日）

消防庁危険物保安室長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

今般、令和6年中の危険物に係る事故の発生状況等について、**別紙1**のとおり取りまとめたので通知します。

貴職におかれましては、「危険物等に係る事故防止対策の推進について」（令和7年3月28日付け消防危第55号。以下「55号通知」という。）別添1の「危険物等に係る事故防止対策の推進について」及び55号通知別添2の「令和7年度危険物等事故防止対策実施要領」を参考に、事故防止に係る取組を積極的に実施いただくようお願いします。（別紙省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/e6f3b76ade7edebdc12624b799e5e625ce6388a2.pdf>）

に掲載されています。

消防庁危険物保安室

担当：羽田野、馬場、笹壁

TEL：03-5253-7524（直通）

E-mail：[fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp](mailto:fdma.hoanshitsu@soumu.go.jp)

## 報道発表

### ◆ 「令和6年中の石油コンビナート等特別防災区域の特定事業所における事故概要」の公表 (令和7年5月28日、消防庁)

消防庁では、毎年、石油コンビナート等特別防災区域内の特定事業所における事故の概要を取りまとめています。今般、令和6年中の事故概要を取りまとめたので公表します。(別紙省略)  
—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

([https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250528\\_tokusai\\_1.pdf](https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/250528_tokusai_1.pdf)) に掲載されています。

(連絡先) 消防庁特殊災害室

担 当 山口、三原、嶋田

電 話 03-5253-7528 (直通)

### ◆ 「令和7年度危険物安全週間」の実施及び消防庁長官賞の表彰

(令和7年5月30日、消防庁)

令和7年6月8日(日)から6月14日(土)まで「令和7年度危険物安全週間」を実施し、消防庁長官賞の表彰を行います。(参考資料省略)  
—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/d0453fe660f0febe7d9a345515b6475b979d20cb.pdf>) に掲載されています。

連絡先 消防庁危険物保安室

齋藤、藤ヶ崎

TEL 03-5253-7111 (代表)

03-5253-7524 (直通)

### ◆ 「消防技術戦略会議」の開催

(令和7年6月3日、消防庁)

南海トラフ巨大地震や首都直下地震などの大規模地震を想定した災害対応力の強化、風水害等をはじめとする災害の激甚化・頻発化、社会経済活動など消防を取りまく環境の変化への対応を図っていくため、消防分野において新たな技術の研究開発・実用化や現場導入を推進していく必要があります。

このことから、消防庁では、AI やロボティクスなどのデジタル技術をはじめとする科学技術の進展を踏まえ、中長期的視点に立って、消防技術戦略のあり方について検討するため、「消防技術戦略会議」を開催することとしましたので、お知らせします。(別紙省略)

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/gisenn.pdf>) に掲載されています。

#### 【お問合せ先】

消防庁技術戦略室

中嶋、西田、岩井、佐々木

電話：03-5253-7541

e-mail：[gisei2\\_atmark\\_ml.soumu.go.jp](mailto:gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp)

※スパムメール対策のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください

## 情報提供

### ◆ 「第34回全国救急隊員シンポジウム」一般演題の募集

#### 一般財団法人救急振興財団

第34回全国救急隊員シンポジウム（熊本市消防局・救急振興財団共催）の一般演題を次のとおり募集いたします。

◎ 開催日 令和8年1月22日（木）、23日（金）の2日間

◎ 会場 熊本城ホール（熊本県熊本市中央区桜町3番40号）

【募集期間】令和7年5月30日（金）から7月31日（木）正午まで

※募集期間の延長は行いませんのでご注意ください。

【応募資格】消防職員を対象とします。

【募集演題】

|                        |                                                           |
|------------------------|-----------------------------------------------------------|
| 救急<br>需<br>要<br>対<br>策 | (1) 救急安心センター事業(#7119)に関する事                                |
|                        | (2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事                              |
|                        | (3) 搬送困難事例への対応（頻回利用、精神科等）に関する事                            |
|                        | (4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事                                      |
|                        | (5) 超高齢社会における救急業務の対策に関する事                                 |
|                        | (6) 救急搬送の増大の要因分析・対策に関する事（日勤救急隊等）                          |
|                        | (7) 救急隊員の労務管理に関する事                                        |
| 連<br>携                 | (8) 関係機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携（転院搬送含む）に関する事                 |
|                        | (9) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討などを含む）に関する事            |
|                        | (10) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事                               |
| 教<br>育                 | (11) 指導救命士に関する事                                           |
|                        | (12) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育などを含む）に関する事                   |
|                        | (13) 救急隊員教育（再教育含む）に関する事                                   |
| 活<br>動                 | (14) 救急活動に関する事（内因性）                                       |
|                        | (15) 救急活動に関する事（外因性）                                       |
|                        | (16) 救急活動に関する事（妊婦・小児対応）                                   |
|                        | (17) 現場活動における各種連携に関する事（ポンプ隊・救助隊などとの連携、救急救命士複数乗車による活動体制など） |
|                        | (18) 処置範囲拡大に関する事                                          |
|                        | (19) テロ災害、多数傷病者事故に関する事                                    |
|                        | (20) 自然災害、大規模災害に関する事                                      |
|                        | (21) 特異症例に関する事（新型コロナウイルス感染症などを含む）                         |
|                        | (22) 救急隊の感染防止対策に関する事                                      |
|                        | (23) 応急手当普及啓発（e-ラーニング、講習時間短縮などの普及促進対策を含む）に関する事            |
| そ<br>の<br>他            | (24) 調査・研究（統計含む）に関する事                                     |
|                        | (25) 救急資器材に関する事                                           |
|                        | (26) 救急業務におけるDXに関する事（ICT、AI、マイナ救急など含む）                    |
|                        | (27) 各消防本部における救急業務の取り組みに関する事                              |
|                        | (28) その他                                                  |

【募集演題数】

217演題（予定）

【応募方法】

第34回全国救急隊員シンポジウムホームページアドレス「<https://34kumamoto99sympo.com/>」の「一般演題募集」の「演題登録はこちら」から必要事項を記入し登録してください。

※ホームページに掲載の「一般演題募集要項」に同意の上、ご応募ください（要項の条件を満たさないものは選考の対象外となります）。二次元コードからもアクセスいただけます。



《第34回全国救急隊員シンポジウムの二次元コード》

【選考について】

全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師および消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行い、選考結果については、9月下旬頃に演題登録時に記入するメールアドレスへ電子メールで通知します。

【優秀演題発表について】

第34回全国救急隊員シンポジウムでは、演題の選考にあたり特に優秀と認められたものについて、「優秀演題発表」としてご発表いただく機会を設けております。優秀演題として採択された方については別途ご案内いたします。

【その他】

シンポジウムの開催および一般演題募集の詳細につきましては、上記ホームページをご参照ください。

【お問合せ先】

一般財団法人救急振興財団

事務局総務部企画調査課

〒192-0364 東京都八王子市南大沢4丁目6番地

TEL: 042-675-9931 FAX: 042-675-9050

MAIL: [sinpo@fasd.or.jp](mailto:sinpo@fasd.or.jp)

## 機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL: 03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、[kikakoho@fcj.gr.jp](mailto:kikakoho@fcj.gr.jp)に送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL: 03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、[honoo@ffaj-shobo.or.jp](mailto:honoo@ffaj-shobo.or.jp)に送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

## 週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

### 【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

### 【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。  
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、[weekly@fcaj.gr.jp](mailto:weekly@fcaj.gr.jp)に送信願います。